

電子カルテ導入について

看護部 横川 由起

遠くの山々も澄みきった青空が映える季節となりました。皆さまは、いかがお過ごしでしょうか。

茅ヶ崎市立病院では10月より電子カルテが導入されました。

近年「電子カルテ」とよく耳にしますが、電子カルテとは、「電子化されたカルテ。医師の診療記録カードを電子的に記録・保存・管理するシステムの総称。」(小学館国語辞典)とあります。電子カルテ導入におけるメリットは、院内の情報化と業務の効率アップです。デメリットとしては、停電・故障等のリスクが高いと一般的に挙げられます。

導入に向け、看護部では平成25年5月より、ワーキングを立ち上げ、その後ワーキンググループと共に活動し、他院への視察等を行い、この日の為に院内一丸となって準備してきました。

今回は、院内全部署が参加した電子カルテ導入におけるリハーサルについて、ご紹介します。

以下はリハーサルの模様です(某休日)。



全体リハーサルは3回に分け、半日かけて患者さんの来院から診療終了までを行いました。

患者役も含め、それぞれ役に分かれて、色々なケースのシミュレーションを行いました。

【受付】

正面玄関より来院して、すぐ右手に診療券を通す受付機械があります。こちらでは、患者さんが来院したこと、本日の診療科の確認を行います。来院が確認されると、今までは紙カルテを棚から探し、診療科へカルテを運んでいました。しかし、電子カルテなら、その行程がなくなり、患者さんの待ち時間の短縮にもつながります。

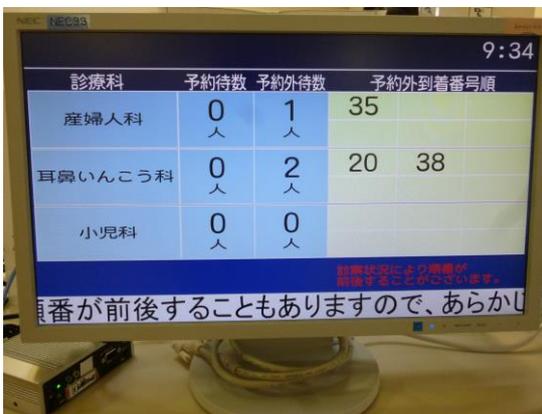
【採血室】

採血室では、認証確認システムが導入されました。以前は検査技師が、検体ラベルを目視しながら、患者さんに氏名・生年月日を言ってもらい、本人確認をしていました。電子カルテの導入の際には、検体ラベルと、来院時に発行される外来受診票にて本人認証確認を行います。また、採血番号票をお渡しする時に、尿検査がある人には、検尿カップも一緒にお渡しできるようになりました。



【外来】

今までの電光掲示板とは違い、予約待数・予約外待数・予約外到着番号順が示され、診察までの待ち時間の目安につながるのではとっております。



診療科	予約待数	予約外待数	予約外到着番号順
産婦人科	0人	1人	35
耳鼻いんこう科	0人	2人	20 38
小児科	0人	0人	

診療予約は予約待ちが順番待ちとなります。
順番が前後することもありますので、あらかじめ

【病棟】

病棟では、患者さんのベッドサイドで認証確認を行うことで、誤認、誤薬防止につながり点滴等の処置が行えます。

また可動式パソコンを使用するので、ベッドサイドでカルテを開くことができ、その場でカルテの記載が可能となり、タイムリーな記載が行えます。検査データの結果をナースステーションに戻ることなく伝えることができるようになり、情報を迅速に伝える事が可能となります。業務全体で時間短縮につながり、よりベッドサイドでの患者さんとの時間の共有ができることを期待しています。



リハーサルを通し新たな問題点や疑問点等があげられ、導入までの間に改善策を見出し、10月を迎える事ができました。

導入してから軌道にのるまでの期間は、不慣れのため時間を要し、ご迷惑をおかけしておりますが、地域医療支援病院としての役割が遂行できるよう、更なる前進をしてみたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

最後に紙カルテから電子カルテに移行し、情報共有しやすくなることで、よりチーム医療につながり、また患者さんとの時間の共有も増し看護部の理念である「人にやさしい看護」が提供できるよう貢献してまいります。